

【単元のポイント】

わり算

3年生 算数 第2単元

学習指導要領（平成 29 年告示）の目標

【A 数と計算】A(4) 除法

除法の意味について理解し、それが用いられる場合について知ること。除法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりすること。除法と乗法や減法との関係について理解すること。

◆ 評価の3観点における目標

【知識・技能】

- 除法の意味（等分除・包含除）を理解している
- 除法を式で表すことができる
- 乗法九九を用いて除法の答えを求められる
- 除法と乗法・減法との関係を理解している

【思考・判断・表現】

- 問題場面から等分除か包含除かを判断できる
- 除法を乗法の逆算として捉えられる
- □を使った式で関係を表すことができる

【主体的に学習に取り組む態度】

- 日常生活で除法が使われる場面に関心をもっている
- 自分で問題を作ろうとしている

◆ 指導上の留意点（学習指導要領解説より）

1. 等分除と包含除

- 等分除：「12 個を 3 人で分けると 1 人何個」（1 人分を求める）
- 包含除：「12 個を 4 個ずつ分けると何人分」（いくつ分を求める）
- 両方の意味を理解させ、同じ式で表せることに気づかせる

2. 乗法九九との関連

- 「 $\square \times 3 = 12$ 」の \square を求めることが除法であることを理解させる
- 九九の逆として除法を捉えさせる
- 乗法の交換法則を活用して答えを確かめさせる

3. 0 や 1 を含む除法

- $0 \div 3 = 0$ （0 を何で割っても 0）
- $6 \div 1 = 6$ （1 で割ると元の数）
- 0 で割ることはできないことに触れる

4. つまづきやすいポイント

- 等分除と包含除の違いが理解できない
- 文章題で式を立てられない（かけ算と混同）
- 九九が不確かで答えが出せない
- 答えの単位を間違える（「〇人」「〇個」など）

◆ プリント作成時の配慮事項

1. 等分除・包含除の両方：文章題では両方の意味を含める
2. 具体的な場面：あめ、いちご、クッキーなど児童に身近なもの
3. 式と答えの対応：式だけでなく答えの単位も意識させる
4. 逆算の習慣：かけ算で確かめる習慣をつける問題を含める
5. \square を使った問題： $\square \times 4 = 20$ のような形式も含める